

自由律俳句

おおくさ編集室選

ひと休みして友とお茶する心相むひと時 茶屋 長谷川由美子  
 もう限界と思いながら大根時く米寿 生山 渡辺 圭子  
 一夜一夜ふくらんでゆく晩秋の月 茶屋 木山 輝子  
 惚けになるまい教育教養高齢の合言葉 生山 柴田 篤子  
 秋も深まり鈴虫鳴く子供の頃が懐かしい 印賀 久代 幹子  
 唐草風呂敷貸そうか熟柿泥棒の狸さん 茶屋 藤原 寿郎  
 白い雲から貴女の声が聞えそうな秋空 茶屋 岸本 治枝  
 百日草百日咲ききって空一面の鯛雲 茶屋 小林 道子  
 老いの仕事としぼろりぼろり栗を剥く 茶屋 木山 操子

俳句

駄句駄句会編集室

敬老日あかね職員芸達者 神戸上 笹間 玲子  
 刈田道めぐる散歩や風渡る 宮内 田辺登志美  
 ひたすらに地を速めゆく蔦紅葉 宮内 舟越 裕子  
 秋探し気迫について来ない脚 矢戸 和田 淑子  
 大秋晴空にとけ込む昼の月 豊栄 花倉美佐子  
 松虫に誘われてたつ月の庭 宮内 木村萬佐子  
 低空の翼刈田を引き裂きぬ 萩原 岡本 健三

短歌

ボストサブ タックを組んで演ずるは 下石見 浅川 三郎  
 輪と和づくりのグラントゴルフ 湯河 山田 司郎  
 人間の本质なれど放念す 安堵の極意五蘊皆空  
 生い茂る天の橋立八千本の 阿毘縁 木村 民子  
 白砂のくる松景観美し 黄昏の晩鐘渡る山寺の 懐郷の母微笑みており  
 紅葉を愛でつ楽しや ノルディックウオーク 上石見 福田 輝之  
 初霜の白き田畑に身がしまり

編集後記

「地域の力とともに」

11月に入り、朝は霞がかかるようになりました。(これが霞…!)紅葉に色づいた山を観ることが毎日の楽しみです。収穫したてのネギや大根をいただき、こんなにも美味しいのか!と感動しています。  
 今月も様々な町の話題がありましたが大まかに印象に残っているのは文化祭です。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、催しものが制限されているなか、久しぶりに催しものに参加することができました。地域文化祭では地域の皆様のパワーを感じ元氣になりました。新型コロナウイルス感染症とどのように付き合っていくか模索が続きますが、地域の力と共により良い形を歩んでいければと感じました。

問 役場企画課

82-1115

「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意志を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えていきます。  
 日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。  
 手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

12月の日程

12月6日(日)、12月20日(日) 14時~15時30分  
 場所 日南町文化センター

【お問い合わせ先】

石田由香里(0800-3052-9933)  
 浅野 博美(0900-9734-1887)

「英語」



右の人差し指と中指をあごの下につけあごに沿って右に動かす

「社会」



親指と小指を立てて小指をつけ、手前に円を描いて親指をつける

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

